



JICA北陸設立25周年 特別企画

JICA北陸

北陸三県の事業紹介シリーズ

夏号から今号までの3号に渡り北陸三県の「事業トピック」について紹介します！新春号は「福井編」です！！

民間連携支援事業

TECHNOFAIR

テクノフェア2017に JICA北陸ブースを出展!!



JICA北陸では...

なるほど

研修事業/教育の質的向上コース

福井の教育、アフリカへ！ アフリカの研修員「授業研究」を学ぶ



11月20日から12月8日までの約3週間、アフリカ7か国から合計13名の教育行政官が来日し、日本独自の学校文化・教師文化である「授業研究」のあり方を学びました。本研修は福井大学教職大学院との協働により実施され、福井県の小・中・高の学校現場視察、向大学教職員や留学生等、様々なバックグラウンドをもつメンバーとのディスカッション等を通じて、授業研究のあり方、それを取り巻くコミュニティ等について考え、自国の教育の質を向上させるための多くのヒントを得ました。寒い時期での研修でしたが研修員は体調崩すことなく多くのことを学び、そして福井を満喫していました！

モロッコ調査団視察報告

ボランティア事業/民間連携支援事業

今年も北陸の企業を募って「JICA北陸民間連携事業調査団」を派遣しました。今年向かった先は、なんと調査団としては初めてのアフリカ、モロッコ王国です！11月12日から19日までの1週間、日本大使館、JICAモロッコ事務所、JETROラバト事務所、進出日系企業、タンジェ地中海港フリーゾーン、JICAボランティアの活動現場を訪問しました。今回参加された中小企業等8社・団体を含む一行11名は、地中海に面しヨーロッパにも至近のモロッコの現状、投資環境、日本との交流について調査を行い、今後の関係づくりのヒントを得ました。過密なスケジュールを熱意で乗りきった今回の調査団から5名の方々に、各視察先を訪問してのコメントを頂戴しました！



テーマ「モロッコの現状を知る」

視察先 JICAモロッコ事務所、在モロッコ日本大使館、JETROラバト事務所

一般社団法人いしかわエネルギーマネジメント協会理事長 清水 義博さん



JICAモロッコ事務所では、日本との長年にわたる友好関係や協力隊派遣50年の実績が根幹にあり、現在の信頼関係に貢献していることを知りました。GDPが伸びてきている一方で、都市と地方の格差、貧困、若年層の失業問題はどうか、気になっていましたが、在モロッコ日本大使館とJETROラバト事務所では、モロッコが農業の近代化や産業の振興、国際物流施設への投資などを通じて、社会の課題解決と発展に取り組んでいる状況を知ることができました。

テーマ「JICA民間連携事業の現場を見る！」

視察先 株式会社鳥取再資源化研究所

有限会社吉田農園 代表取締役社長 吉田 一義さん



中小企業海外展開支援の普及、実証事業で乾燥地節水型農業技術の実証を行っている現場を視察しました。青年海外協力隊OBの狩野氏の姿がとても魅力的で民間連携事業の模範となる事例だと思いました。今後、商業化への道りは簡単ではないと思いますが、一つ一つの実験の成果や実証例が現地の生産者の安心感を引き出し、普及が持続的にされることを祈っています。

テーマ「日本語教育で活躍～
青年海外協力隊、シニア海外ボランティア」

視察先 モハメッド5世大学

株式会社エクスプレッションズ 代表取締役 上田 成子さん

日本から遠いモロッコのラバトで、日本のアニメの影響もあり日本語を学びたい人が増えていることが意外でした。日本語受講に対して今年200名の応募があったことにも驚きました。シニア海外ボランティアの足田さんが日本語能力検定試験に添ったカリキュラム作成と評価に向けて活動され、青年海外協力隊の三島さんが教育現場で活躍されている様子をお聞きしました。文学人間科学部のジャマル氏のお話からも、両隊員に対する期待が伺えました。



テーマ「進出日系企業の課題」

視察先 プリチストンタイヤ販売モロッコ

明和工業株式会社 海外事業部プロジェクトマネージャー 佐久 志歩さん



プリチストン様より、日系企業よりもはるかに地の利のある欧州企業との競合分野（自動車タイヤ）へ参入する際の苦労や、それを乗り越えるために実施してきた日系企業としての工夫点について伺うことができました。これらは、これから弊社がアフリカでの事業に取り組み、市場を開拓していく際の参考になりました。

テーマ「モロッコの現状を知る」

ガレージSMC代表 堀川 進さん



訪問した大都市のラバト、カサブランカ、タンジェは移動中に見る景色や交通量、走っている車種を見ていとも察している印象を持ちました。農業エリアの視察で伺ったアガディールは上記三都市ほどではないですが、それでも同様に新しい綺麗な自動車が多く走っていました。データでは、まだ四輪車の普及率は低いのですが実際の交通量が多いことに驚きました。

モロッコ調査団視察報告

開発教育支援事業

2017年度 教師海外研修 実践授業 報告

フィジー現地研修で学んだ知識・経験を学校現場に還元する「実践授業」が2017年9月から始まりました！今回は、2つの実践授業をご紹介します☆



富山県高岡市立 能町小学校

1年生の実践授業

能町小学校では、教師海外研修に参加された奥井千里先生が、自分の担当クラスだけでなく、他学級や保護者も参加出来る授業を行いました。「フィジーはかせになろう！」というテーマの下、まずは小学1年生の生徒さんたちがフィジーのことを勉強し、その後フィジーの「学校」、「食べ物」など自分の担当する内容をポスター形式で発表しました。招待した別学級のお友達に発表している「フィジーはかせ」たちの姿は小学1年生とは思えない程堂々としていました！



石川県白山市立 東明小学校

特別支援学級の実践授業

倉さくら先生のクラスでは、フィジー衣装を着たり、現地で購入してきたタロイモチチップスを食べる「フィジーたんけん」が行われました！初めて見るものにみんな興味津々で、授業中は「フィジーに行きたい！」という声が何度も聞こえてきました。先生手作りの「フィジーパスポート」や、パスポートに貼るフィジーシール（これも手作り）など、先生の普段の努力や工夫の才能があふれている実践授業だと感じました。